

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 血中異常タンパク質分解系の普遍性確立と応用展開
2. 研究代表者： 板倉 英祐（千葉大学 大学院理学研究院 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、血中のプロテオスタシスに着目し、細胞外タンパク質分解システムのメカニズム理論を応用した新規治療等の応用展開を目指している。フェーズ1では、shear stress sensitive タンパク質を同定するとともに、新規に同定した細胞外シャペロンとアミロイドーシス原因タンパク質との生理的な関係を示した。さらに細胞外タンパク質特異的な新しいタイプのエンドサイトーシスの可能性を見いだしており、計画に沿って着実に進展したと評価する。フェーズ2では、in vivo での検証などに進めることにより、細胞外タンパク質分解システムの生理機能が解明されることを期待する。

以上